



2025年2月14日

各位

会社名 大黒屋ホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 小川 浩平
(コード番号:6993 東証スタンダード市場
問合せ先 財務経理部マネージャー 今長 岳志
(TEL 03-6451-4300)

2025年3月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社では、最近の業績動向を踏まえ、2024年11月12日に公表いたしました2025年3月期の通期連結業績予想を下記のとおり修正しましたので、お知らせいたします。

記

1. 2025年3月期通期連結業績予想数値の修正

(2024年4月1日～2025年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益	包括利益
前回発表予想 (A)	百万円 11,480	百万円 △352	百万円 △636	百万円 △669	円 銭 △5.09	百万円 △680
今回修正予想 (B)	10,515	△686	△883	△828	△5.86	△858
増減額 (B-A)	△965	△335	△247	△158	△0.77	△178
増減率 (%)	△8.4%	—	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (2024年3月期)	10,967	△143	△446	△539	△4.60	△574

2. 通期連結業績予想の修正理由

通期連結業績予想の修正理由としましては、2024年11月12日の予想（以下「前回予想」といいます。）と比べて、在庫積み増しを下方修正したための売上減少が主な要因です。当社グループの根幹会社である株式会社大黒屋（以下「大黒屋」といいます。）において、大黒屋の在庫積み増しについては、前回予想では、第3四半期で在庫を17億円程度まで積み増すこととしており、為替が安定したことから買取も増加させましたが、適切な買取価格を考慮する必要性と他社との競合から、落ち込んでいる在庫水準（棚卸資産1,282百万円、前年同期比274百万円減少、17.6%減）を予定どおり積み増すことができませんでした。第4四半期では16.4億程度積み増す予定としております。

また、外国人客の主力である中国からの観光客が、前回予想ではピーク時の8割程度戻ると見込んでいたところですが、第3四半期においては、ピーク時の7割にとどまり、第4四半期も7割程度と想定したことも、下方修正の一因となっております。

以上により、売上高を、前回予想から965百万円減少させ、10,515百万円になる見込みとしております。

この売上及び売上総利益の下方修正に伴い、営業利益も下方修正しております。また、売上の下方修正が主な要因ですが、前回予想では、販売費及び一般管理費を前年度同期並みと想定しておりましたが、LINEヤフー株式会社（以下「LINEヤフー」といいます。）及び株式会社メルカリ（以下「メルカリ」といいます。）との業務提携では前回予想時よりも提携協議が進捗したため、システム開発費用などの新サービスに向けての投資費用が想定以上に必要となったことや「おてがるナンデモ買取」のキャンペーン等概念実証(POC)をさまざまなマーケティング手法を用いて行ってきたことから、広告費・システム関連費用が対前年同期比2.1億円と一時的に増加しました。これら新サービスが軌道に乗ればこの費用は逡減します。

売上総利益の低下を主要因とした営業利益の低下が見込まれることから、営業損失は前回予想から335百万円増加し、686百万円になる見通しであります。

以上の結果、通期業績予想につきましては、売上高及び営業利益の減少に伴い、それに合わせて経常利益以下の指標についても、前回予想を下回る見込みといたします。

なお、当期は在庫の積み増しは予定通りには進まなかったものの、その中で在庫を重点的に割り当てた大型店である、大阪ミナミ店の売上は1,621百万円（前年同期比369百万円増加、29.5%増）、福岡天神店の売上は806百万円（前年同期比108百万円増加、15.6%増）、心齋橋店の売上は412百万円（前年同期比51百万円増加、14.2%増）となっており、需要の獲得はできております。そのため、提携の進展に伴う買取の増加及び既存買取チャンネルでの買取増加により、在庫の積み増しが進めば、大黒屋全体でも同じように在庫の増加に比例して売り上げの拡大ができると見込んでおります。また、提携にかかる先行投資費用を除けば、第3四半期連結累計期間において営業利益(のれん控除前)は135百万円を計上しており、足元の経営基盤は安定しております。現在は、LINEヤフー及びメルカリとの業務提携において先行投資をしている段階であり、短期的には収益を圧迫しておりますが、本日見直しを行った大黒屋における「中期経営計画（2025～2029）」に沿って収益拡大に向けて着実に前進しております。

※ 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上